



R.I.District2610. ROTARY CLUB OF UOZU

魚津ロータリークラブ

2014-2015 年度 R I 会長 ゲイリー・C.K.ホアン
2014-2015 年度 魚津RC会長 平崎 暉夫

2015.2.6

魚津高が最優秀賞

新聞コンクール 砺波工業高・国際大付高も 丹念な取材 高い評価

第61回県高校新聞コンクール（県高校新聞研究会、北日本新聞社主催）で魚津高校新聞部が発行する魚高新聞が最優秀賞に選ばれ、2日北日本新聞ホールで行われた表彰式で部員代表が賞状とカップを受け取りました。

審査会は1月16日（金）に、新聞部の顧問、応募のあった14校の担当教員が検討しました。



最優秀賞に輝いた魚津高校新聞部の魚高新聞

部活動や学校生活、地域の話題などを取材した紙面はどれも感性にあふれていたそうです。中でも「魚高新聞」は丹念な取材や工夫を凝らしたレイアウトが高い評価をうけたそうです。

プロスポーツや東北の復興、大学受験制度などの特集を掲載した平成26年12月22日発行の243号では、魚津市出身でプロ野球パ・リーグ新人王の石川歩投手に電話インタビュー。

石川投手から、入団前は「野球エリート」たちとうまくやれるか不安だったという心情を引き出しています。

日刊紙の社説に当たる「論説」では、モンスターペアレントやクレマーの例を出し、世間に蔓延する利己主義的な風潮に対し、気骨ある論を展開しています。

魚津の高校生が作る紙面であり、せじじくり読んでもらいたいと思います。

最優秀賞には同時に、

砺波工高の「砺工新聞」、国際大付高の「ザ・プレス国際高」も選ばれました。砺工新聞は、ロボット競技全国大会の準優勝のほか、北海道自転車旅行などのユニークな活動を報告。ザ・プレス国際高は、国際交流などをテーマに多角的に取材。カラフルな紙面に仕上げていました。



明るくいきたい

第2953回例会は1月30日、ホテルサンルート魚津で開かれ、新川みどり野高校長の五艘孝芳氏が「スポーツよもやま話」の題で卓話されました。（2ページに要旨）。

開会あいさつに立った平崎会長は、イスラム国問題をはじめ、暗いニュースが相次いでいることから「明るい話題を」と切り出したものの、内容は国の財政問題。

「国の借金と日本国の借金は違う」と独自の考えを披露されたが、この話題で会場が明るくなったかどうかは微妙。

幻の銀メダルを展示

20世紀日本のスポーツ展(2000年開催)

2年の準備期間を経て、若手職員と2人で開催にこぎつけた。東京の秩父宮スポーツ博物館に何度も足を運び、展示物の貸し出しをお願いした。

貸し出していたいたものは、日本初の金メダルとなった織田幹雄さん(1928年アムステルダム五輪・陸上三段跳び)の金メダル、日本女性初のメダルとなった人見絹枝さん(同・陸上800㍎)の銀メダルなど貴重なものばかり。特殊車両で運び、展示で紛失したら大変なので、ガードマンを雇って昼夜の管理に当たった。

会期中にマラソンの高橋尚子さんが富山に来ていた。直談判して展示を見てもらったが、当時は大変な人気で、人が押し寄せた。当時撮った写真が私のお宝だ。

2000年7月に人見絹枝さんの銀メダルが生家で見つかった。幻の銀メダルとされていたもので、全国で初めての展示となった。



「宮津八幡宮でお祓いをした福豆です」と言って、同神社禰宜の寺田祐子さんが出席者全員に袋入りの大豆=写真=を配られました。

由来を問われた寺田さん。「この豆を食べるようになったら、ここ2~3年は体が元気な感じです」霊験あらたかなところを強調。なにより、明るい表情とハリのある声が出席者を元気づけたようでした。



《今月の予定》

- ▼13日(サンルート)
ゲスト卓話・川崎洋一富山地裁魚津支部所長
- ▼20日(サンルート)
ゲスト卓話・池野進北陸能力開発大学校長
- ▼27日(サンルート)
卓話・池上嘉昭さん

《出席報告》

- ▼2953回 32人 出席率91.17%
メイクアップ 大村
- ▼2951回 メイクアップ なし
出席率73.52%

《ニコボックス》

- ▼宮津八幡宮の福豆をお持ちしました。今年一年、まめまめしく、大きな福を分けあって幸せな年になりますように。(寺田)
- ▼ガバナー補佐・新庄寿一さん
- ▼滑川RC・深井真三郎さん

《案内》

- ▼国際ロータリー2610地区富山第一分区IM例会

日時：3月22日(日)15時20分点鐘

会場：滑川交流プラザ

ホスト：滑川ロータリークラブ

会費：1人8,000円

基調講演：国際ロータリー理事・北清治氏

「クラブ活性化を目指して 楽しいロータリー」

懇親会：~19時

▼演劇「菊次郎とさき~北野家の逆転!?金メダル狂想曲!」

2月22日午後1時から新川文化ホール。

料金= S席7500円、A席6500円、B席5000(当日は各500円高)

室井滋さん・陣内孝則さん主演。ビートたけしさん原作。昭和30年代の東京・下町を舞台に家族の絆の大切さを描いた人情喜劇。たけしさんの母・さき役の室井さん、父・菊次郎役の陣内さんのほか、NHK朝の連続ドラマ「マッサン」で人気の濱田マリさんや、音無美紀子さん、風間トオルさんら演技派がそろい、笑いあり涙ありの舞台を繰り広げます。

問い合わせは、電話076(445)3355

北日本新聞社事業部(平日午前9時~午後5時)